



学校だより  
【4月28日号】

**校長室より②** ぐらしに活かされている力① あいさつ

地域の方からお電話をいただきました。「宮脇書店の前を歩いていた小学生の子にあいさつをしてもらいました。とてもすがすがしい気持ちになりましたのでお電話しました。」というものでした。学校内だけでなく地域でもできるほどぐらしの中に根づいているんだなあと思っ  
てうれしくなりました。



**校長室より③** ぐらしに活かされている力② 責任(そうじ)



「小寺東公園で水風船で遊んでいた子どもたちが去って、その片付けをしていたら近所に住む一人の男の子がいっしょに片付けてくれました。最後まで責任持って手伝ってくれました。温かい気持ちになりました。」と教えてくださいました。してあげようではなく男の子の中に自然と身につけているのでしょうか。すばらしいですね。

**校長室より④** ぐらしに活かされている力③ 思いやり

先週の金曜日の朝、登校中にこけた子がいて呼ばれて行ってみると上級生たちがティッシュで血をふいていたり自分のランドセルからカットバンをだして貼っていたり「大丈夫？」と声をかけていたり相手を思いやる言動がたくさんありました。思いやりの心がぐらしの中に根づいている姿を見てほっと温かい気持ちになりました。



毎月行っている品格教育の目標は4月が「あいさつ」5月が「責任」6月が「思いやり」です。今年度の校内研究は、昨年度に引き続き道徳科を取り上げています。授業だけでなく授業で培ったことを「認め合い活動」を中心に子どもたちに価値づけていく道徳的実践力を養うことを大切に考えています。上記で紹介しているように、心情が育つだけでなくぐらしの中に活かされている子どもたちの姿にふれるとうれしくなります。子どもたちがぐらしの中に生きて働く力を身に付けて行ってほしいと思っています。ご家庭でもしっかりお子さんの良いぐらしぶりを取り上げて認めてあげてください。よろしくお祈いします。

